

金婚夫婦  
五十年  
物語



「せっかくのハワイ旅行にカメラを忘れていったでしょう」  
「なーん、思い出として残っとるどーが。それで良かったい」

# 二人で歩んだ50年。 これからもずっと一緒に。

有馬伸明さんと友世さんは、結婚して50年の金婚式を迎えました。二人の縁はお見合いから。友世さんは「新婚旅行は絶対ハワイ」と決めていました。高校教師・伸明さんの勤務先は鹿児島県喜界島。親族もない離島での慣れない結婚生活が始まります。それでも二人は念願のハワイ旅行を実現。やがて女性ばかりの有馬家に待望の長男が、続いて双子の次男・長女も誕生し、鹿児島で過ごした34年間は子育てに奮闘しながらも、新しい出会いと温かい思い出に満ちた日々でした。そして、いつの間にかにぎやかになった家族に囲まれて、古里・砥川で50年という節目をお祝いしました。けれど50年はただの通過点。二人の人生は、これからも穏やかに続いていきます。

## 有馬伸明さん 友世さん（下砥川）

1863(文久3)年から続く有馬家。主屋や門、蔵は今もその歴史を伝え、令和7年7月には蔵が国登録有形文化財に指定された。二人は熊本地震や友世さんの大病といった苦難も乗り越え、この住まいを子どもたちと共に守り継いでいる。